

担当：柴 医師

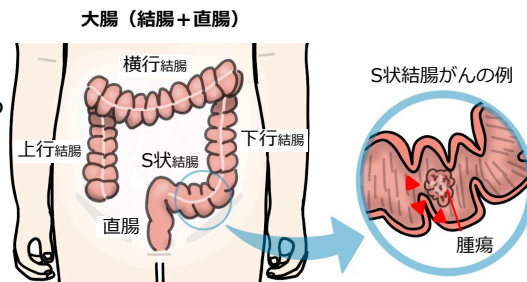
2021年11月
第5回

便潜血陽性と言われたら？

1

便潜血陽性が意味すること

便潜血反応とは大便に含まれている微量な血液の有無を調べる検査です。大腸の多くの病気では、表面のもろい組織から出血しやすいため、便に血液が混じることがあります。このため、便潜血検査が陽性の場合は大腸ポリープ、大腸癌などの可能性があります。そのほか便潜血反応が陽性になる病気としては、炎症性腸疾患、大腸憩室、内痔核などがあります。

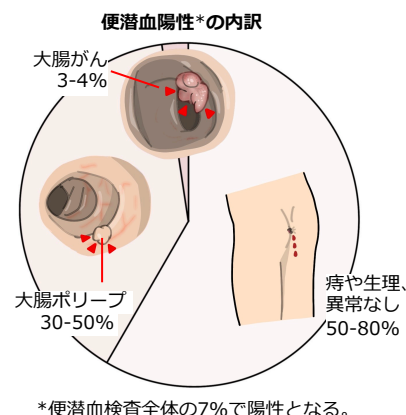


2

便潜血陽性を調べてみると・・・

便潜血陽性で大腸内視鏡（大腸カメラ）をすると3~4%の確率で大腸がんが見つかります。そのうち70%は早期がんで見つかるため、症状が出てから発見されることが多い進行がんよりも早い段階で診断でき治療ができる可能性があります。また、便潜血陽性から一番多くみつかると大腸ポリープでは、放置するとがん化する危険がありますが、これも大腸内視鏡で切除することが可能です。

その他には、痔や生理中だと、便潜血陽性となることがあります。なお、便潜血陽性で大腸内視鏡検査をしても40%の方は何も見つかりません。（右図）



3

大腸がんの早期発見・治療のチャンスを逃さないで！

早期がん便潜血陽性となる確率は60%、進行がんでも90%です。便潜血が陽性となった後、もう一度検査をして陰性になっても大腸がんを否定することはできません。早期治療のチャンスを失ってしまう可能性があります。



4

苦痛の少ない大腸内視鏡検査とは？



健康診断で便潜血陽性の結果が帰ってきてても、内視鏡を受けるにあたって検査が辛いのではないか？などの心配により、病院受診がためらわれたりするかもしれません。鎮静剤や麻酔のゼリーをしっかり使用することにより、不安や苦痛を取りながら検査を行うことが出来ます。

便潜血陽性で見つかる多くの病気が治療可能です。どうぞ、便潜血陽性を放っておかないで、早めに病院を受診してください。

AOI国際病院

医療法人社団 葵会
AOI UNIVERSAL HOSPITAL

TEL : 044-277-5511

〒210-0822 神奈川県川崎市川崎区田町2丁目9番1号

